

## 年頭のご挨拶

全国都市職員災害共済会  
会長（阿久根市長）西平 良将

令和7年の新春を迎え、全国の都市職員並びに組合員の皆様に謹んでごあいさつを申し上げます。

皆様方には、日頃より本会の火災共済・自動車共済に対し、温かいご支援とご理解を賜っておりますことに厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、パリ五輪をはじめスポーツ界における日本人選手の活躍、また半世紀ぶりのノーベル平和賞受賞、「佐渡島の金山」のユネスコ世界文化遺産登録など明るいニュースがありました。一方、昨年元旦に発生した能登半島地震、更に復旧なかばの9月に豪雨という二重の大災害、また全国各地でも台風による暴風雨被害や局地的豪雨など、引き続き自然災害が猛威を振るった一年でもありました。

被災されました都市並びに都市職員の皆様に対しまして、心からお見舞申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

近年の自然災害は地域や季節に関係なく頻発し、その規模も大型化し甚大な被害をもたらしてきており、災害への備えとして本会の果たす役割は益々大きなものになってきていると考えております。

本会におきましては、都市職員の皆様方が万一の事故や災害に遭遇しても安心して職務に専念し、生活の安定を図ることができるよう火災共済・自動車共済事業を実施し、これまで数次にわたる内容改善を行いながら、制度の充実を図ってきております。

今後とも、組合員の加入促進や未加盟市の加盟勧奨を積極的に進め、事業運営基盤の一層の強化に努めるとともに、組合員の皆様の安心と利便性の向上に向けて更なる事業内容の充実に鋭意努力して参りますので、引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、全国各都市のご発展と都市職員並びに組合員の皆様方のご健勝を心から祈念申し上げ、新年のあいさつといたします。